

7月18日（水）2校時（10：55から11：45）「ビジネス基礎」の授業で、外部講師を招聘して

租税教室

を行いました。

これは、山形税務署より御支援を賜り、実施することができたもので、

税理士・弁護士の資格をお持ちの **須藤 雅人** 先生から御講話をしていただきました。



税に関し、様々なお話を
うかがいました

歴史をはじめ、税の種類
外国の事情
税制や民主主義を考察する
学びとなりました



ダミーであっても、
1億円は緊張します

意外に（想像以上に）
重かった！

税を学び考える。そして、国民ひとりひとりが政治に参加して、よりよい社会をつくるという意志を持つことの大切さを学ぶことができたことは大きな収穫でした。

この授業は、以下のとおり「山形新聞」でも紹介されました。

ん(15)は「相手に伝わるようにゆっくり読みたい」と一に録音した。

税金のこと、聞いて納得

明新館高生36人、租税教室

上山

上山明新館高孝校長)で18日、租税教室が開かれ、情報経営科の1年生36人が、税の役割や仕組みなどを学んだ。

租税教室は、同校が山形税務署などと連携し毎年実施。須藤会計事務所山形東事務所(山形市)所長で、税理士・弁護士の須藤雅人



さんが講師を務めた。税理士の業務内容などを紹介した後、クイズ形式で税の歴史や種類、日本の税収など

を解説。1億円のレプリカを持ってお金の重さも実感した。

最後に須藤さんは「税金をどう使うかは、若い人の意見がどれだけ反映されるかで変わる。18歳になったら選挙に行こう」と呼び掛けた。渡辺拓真さん(15)は「税理士の仕事はやりがいがある」と知り興味を持った。税金にはたくさんの種類があることも分かり、勉強になった」と話していた。

1億円のレプリカを手にし、重さを実感する生徒たち。上山市・上山明新館高